# 園部共同作業所だより

園部共同作業所発行
〒６２２－００１１
京都府南丹市園部町上木崎町入道３２
電話０７７１－６２－３２４９
ＦＡＸ０７７１－６３－２９４１

ＮＯ ７８

## 新春のお慶び申し上げます

昨年は、格別の作業所運営にご支援賜りまして、誠に有難うございました。今年も、皆様の温かい心の支援を頂きながら、作業所の運営に精一杯努力致しますと共に、障害者福祉の向上に尽力致しますと共に、皆様の健康と幸福を祈りまして、新年の挨拶とさせ頂きます。

## 思い起こせば②

昭和五十八年四月三日の京都新聞に掲載されました、「よう園部共同作業所」、「ピエロ」、「ピエロ」、「ピエロ

## 日帰りバス旅行

―名前は知らない魚―

集合は九時だった。バスが出発した。最初に着いたのは神戸の花鳥園だった。「フクロウ」だらけだった。「フクロウ」の種類は一般的に六種類。でも印象的だったのが、「コミミズク」というフクロウだった。名前は「マロン」という名前らしい。観光客が写真を撮ろうとすると、カメラのレンズと反対方向を見て、けっこう写真を撮るのに苦戦していた。「フクロウ」はかなり捻くれているとわかった。あと「フクロウ」が寝ているのも見れた。

時間は一時間くらいだったけれど、お土産も買え楽しかった。次にいったのは、須磨の水族館だった。インパクトを感じたのは、入り口付近に「サメ」の剥製があった。となりには赤ちゃんの剥製があった。

人間の赤ちゃんとは違い、赤ちゃんで二メートルくらいあった。一番好きなのは「クラゲ」でした。このような種類を無脊椎生物というらしい。「クリオネ」や「タツノオトシゴ」も好きだったけれど、ずっと「クラゲ」を見ていたい感じだった。

パンフレットに一三時からイルカショーがあるのを目にした。イルカショーとかに合い、イルカはシャンとしてもフープを回して調教師のところまで持ってきてあいるボールを届くまでジャンプしたり、やっと三回目で成功した。

水族館も一時間だったけど一時間ってけっこう見られるものだと感じた。食事は「たこつぼ亭」という名前だった。肉は柔らかく「たこ飯」もおいしかった。たいへん満足した一日でした。

―補足―

最近の自分は行事に参加している自分がいる。何が自分を変えたのかは知らないけれど…。作業所に入り、一年になるが変化しようとしている自分がいる。出たり、入ったりしているが、ゆっくりゆくは誕生会に三〇分出られるようになりたいです。

高見　大佑

## クリスマス会

南丹市社会福祉協議会様より、歳末助け合い運動による助成金をいただき、十二月二十三日、作業所にてクリスマス会を行いました。地域の子供たち、ボランティアさんにも参加してもらい、園部マジックショーに始まり、のマジックショー、カラオケ、そしてその日のために練習してきた寸劇、サンタクロースの登場でプレゼントのサービス等、最後には皆んなお待ちかねのクリスマスケーキを美味しくいただき、大満足な一日でした。

## 新春ボーリング大会

京都府共同募金会によるNHK歳末助け合い義援金をいただき、一月七日福知山サンケイボールにてボーリング大会を開催しました。今年で八回目となり、すっかり作業所の行事として定着して皆んな楽しい一日を過ごすことができました。ありがとうございました。

## 砂糖の袋入れ

入所して、今まで色々な仕事をして来ました。

今、私がしている仕事の中で、好きなのは、豊和さんの砂糖の仕事です。

専用の袋に台紙を入れ、砂糖を三〇本入れてグラムを計り、圧着します。

箱に入れるのですが、それまでにしないといけない事があります。

破れていないか？油汚れ等がないかを、検品しながら一〇本数えます。

次に、もう一度、検品しながら、一〇本数えて、紙コップに三〇本入れ、それを専用の袋に入れます。袋に入れた砂糖のグラムを計り、圧着します。

圧着する時も、しっかり空気を抜いて圧着します。

圧着をして、大箱に一二〇個入れる時と、仏事用として、仏事の化粧箱に入れ、中箱に五〇個入れて、中箱二つを入れて一〇〇個入りにする時の二種類があります。

この行程で、一番気を使うのが、検品です。

はっきりと破れているのや汚れているのは、すぐわかるので、不良だとわかるのですが、「これ油汚れ？」「これ破れているの？」と、判断するのが、難しい時があります。

いつも数人で作業するのですが、たまに私一人でしたりする時は、すごく気を使います。

一人だと、なかなか仕事が、進まず、あせってしまいますが「急ぎじゃないから、ゆっくりでいいよ。」とか、休けい中や朝時間になっていない時にしてたりすると「がんばりすぎて、しんどくなるで」「休む時は、休みや」とよく言われます。

自分では、がんばっているつもりはないのですが、他の人から見たら、がんばっているように見えるみたいです。

最近では、体調もよくなく、目まいをおこしたり、幻聴をおこしたりしているので、体調に気をつけて無理をしないように、仕事をがんばりたいと思います。

片野　晶子

## 編集後記

フルマラソン三〇周年記念の年だからと、走友のS氏と瀬戸内海小豆島でのフルマラソン大会に参加しました。四〇歳、六〇歳、五〇歳は四時間、六〇歳は五時間かかると……、いや完走も無理かと覚悟していました。ところが四時間で帰ってきました。腸の手術後、日常的な下痢に悩まされ、十分な練習も出来ていなかったので自分でも驚いています。